



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 アリアケジャパン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2815 URL <https://www.ariakejapan.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 松本 幸一 TEL 03-3791-3301
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	55,698	5.8	8,455	△20.8	9,270	△18.2	6,385	△17.2
2022年3月期	52,658	6.0	10,682	6.3	11,340	6.2	7,708	5.9

(注) 包括利益 2023年3月期 8,489百万円 (△13.0%) 2022年3月期 9,758百万円 (23.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	200.48	—	5.9	7.5	15.2
2022年3月期	242.10	—	7.6	9.8	20.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	126,262	111,743	87.7	3,477.73
2022年3月期	119,964	106,338	87.9	3,312.02

(参考) 自己資本 2023年3月期 110,763百万円 2022年3月期 105,486百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	5,597	△1,915	△3,093	56,296
2022年3月期	8,302	7,058	△2,478	54,904

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	20.00	—	76.00	96.00	3,057	39.7	3.0
2023年3月期	—	20.00	—	82.00	102.00	3,248	50.6	3.0
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	82.00	102.00		50.6	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,918	5.7	4,371	7.7	4,700	1.4	3,036	1.5	95.32
通期	59,400	6.6	9,300	10.0	10,000	7.9	6,900	8.1	216.64

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 0社（社名）－、除外 0社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年3月期	32,808,683株	2022年3月期	32,808,683株
2023年3月期	959,375株	2022年3月期	959,160株
2023年3月期	31,849,415株	2022年3月期	31,841,173株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	42,687	6.5	5,714	△24.3	6,492	△22.3	4,712	△19.3
2022年3月期	40,075	3.9	7,551	1.9	8,357	3.0	5,841	4.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	147.96	—
2022年3月期	183.47	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	109,950	99,193	90.2	3,114.45
2022年3月期	107,344	97,144	90.5	3,050.12

(参考) 自己資本 2023年3月期 99,193百万円 2022年3月期 97,144百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,680	4.2	3,479	0.5	2,443	1.2	76.71
通期	44,000	3.1	7,100	9.4	5,090	8.0	159.81

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(連結業績)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2023年3月期	55,698	8,455	9,270	6,385	200円48銭
2022年3月期	52,658	10,682	11,340	7,708	242円10銭
前期比	5.8%	△20.8%	△18.2%	△17.2%	—

(単体業績)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2023年3月期	42,687	5,714	6,492	4,712	147円96銭
2022年3月期	40,075	7,551	8,357	5,841	183円47銭
前期比	6.5%	△24.3%	△22.3%	△19.3%	—

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響による行動制限が緩和され、経済活動全般に回復の動きが見られたものの、不安定な国際情勢を背景としたエネルギーコストの上昇や資源価格の高騰、円安進行等が企業収益や家計に影響を与えました。

このような状況下で、当社グループでは、中長期経営計画の達成に向け、グローバルエンタープライズとして、また、天然調味料におけるリーディングカンパニーとして顧客ニーズを先取りし、全世界の既存事業の拡充と、新規事業の積極的な展開を図りつつ、「食の安全」「健康」「おいしさ」を追求してきました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は以下のとおりとなりました。

当社（アリアケジャパン(株)）の売上高は、顧客第一の姿勢を貫いて拡販に努め、前期比6.5%増（2,612百万円増）の42,687百万円となりました。

連結売上高に関しましては、子会社の売上が前期比3.4%増加いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、55,698百万円（前期比3,039百万円増加）となり、前期比5.8%の増加となりました。

当社の営業利益は、原材料及び光熱費の高騰に伴い営業利益が減少したことにより前期比で1,837百万円減少（24.3%減少）の5,714百万円となりました。

連結営業利益は8,455百万円で、前期比で2,226百万円の減少（20.8%減少）となりました。

当社の経常利益は、主に前期に比し為替差益が175百万円減少したため、経常利益合計では前期比で1,864百万円減少（22.3%減少）の6,492百万円となりました。

連結経常利益は、9,270百万円（前期比2,069百万円減少）と、前期比で18.2%減少しました。

また、当社の当期純利益は4,712百万円（前期比1,129百万円減少）と、前期比で19.3%減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益は6,385百万円（前期比1,323百万円減少）と、前期比で17.2%減少しました。

なお、単一セグメントのため、セグメントの業績は記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は81,413百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,595百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が6,607百万円及び有価証券が1,500百万円減少したこと、及び原材料及び貯蔵品が1,305百万円増加したことによるものであります。固定資産は44,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,893百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,003百万円増加し、投資有価証券が8,989百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、126,262百万円となり前連結会計年度末に比べ6,298百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は9,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ538百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が689百万円増加し、未払法人税等が187百万円減少したことによるものであります。固定負債は4,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が394百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、14,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は111,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,404百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益6,385百万円及び剰余金の配当3,057百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.7%（前連結会計年度末は87.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が9,308百万円（前期比16.5%減少）と減少しており、投資有価証券の取得及び配当金の支払いによる支出等により、当連結会計年度末には資金残高は56,296百万円となり、前連結会計年度末より1,392百万円増加（2.5%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前当期純利益が9,308百万円（前期比1,844百万円減）と減少し、減価償却費1,784百万円を計上し、棚卸資産の増加が2,069百万円、及び売上債権の増加が696百万円等により5,597百万円（前期比2,705百万円収入減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、設備投資3,017百万円（前期比669百万円支出増）、投資有価証券の取得による支出8,486百万円、有価証券の売却による収入1,500百万円、定期預金の払い戻しによる収入8,000百万円等により1,915百万円（前期比8,974百万円の支出増）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,093百万円（前期比614百万円支出増）となりました。これは主に配当金の支払3,057百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	82.8	88.9	87.9	87.9	87.7
時価ベースの 自己資本比率 (%)	176.6	207.7	191.2	137.8	123.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	21,567.6	28,694.2	3,665.0	1,334.9	1,111.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

(連結業績の見通し)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2024年3月期	59,400	9,300	10,000	6,900	216円64銭
2023年3月期	55,698	8,455	9,270	6,385	200円48銭
当期比	6.6%	10.0%	7.9%	8.1%	—

(単体業績の見通し)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2024年3月期	44,000	6,600	7,100	5,090	159円81銭
2023年3月期	42,687	5,714	6,492	4,712	147円96銭
当期比	3.1%	15.5%	9.4%	8.0%	—

経済活動全般は、新型コロナウイルス感染症の影響からの行動制限は緩和され回復傾向にありますが、不安定な国際情勢を起因とした資源高の影響からなる物価上昇や円安傾向は引き続き続くものと予想しております。

その中で当社グループは、世界的な天然調味料の需要拡大、及び当社の国際市場浸透を図って、10年以上前から全世界で200億円を超える大型設備投資を実施してまいりました。これら国内外の設備投資の果実は着実に実現しています。2023年3月期の単体の売上高は42,687百万円と、2013年3月期(28,442百万円)から約50%増加、連結売上高は55,698百万円と、2013年3月期(33,591百万円)から約65%増加しております。

また、利益面でも設備投資に伴う減価償却の増加を吸収して順調に伸びており、2023年3月期の当社の当期純利益は4,712百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,385百万円となっております。次期もまた当社グループの独自技術と最新設備を最大限に活用し、上記の特色を生かして安定的な収益を確保すべく、全力を尽くします。

このような環境の中、翌連結会計年度(2024年3月期)につきまして、国内市場では顧客の嗜好や業態の変化を読み取り、新たな製品開発と市場開拓を行い、さらなるシェア・アップを図ってまいります。

また、更なる拡販が期待できる中国はじめ台湾市場での加工メーカー向け販売強化、インドネシアから日本への原料供給と同国市場の販売強化を図ってまいります。

欧州においては、欧州圏の開発製品の投入による売上げ強化、および、日本への原料供給強化に取り組んでまいります。

地政学リスクの高まりにより厳しい経営環境が続くものと予想されますが、上述の施策を着実に実行し、2024年3月期においては更なる成長を目指す計画であります。

このような環境の中、翌連結会計年度(2024年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高59,400百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益9,300百万円(同10.0%増)、経常利益10,000百万円(同7.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,900百万円(同8.1%増)を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1ユーロ=141円、1中国元=19円、1台湾ドル=4.33円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のウクライナ危機の影響等など、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,404,491	56,796,833
受取手形及び売掛金	11,225,004	12,122,013
有価証券	1,500,000	—
商品及び製品	4,186,198	4,825,744
仕掛品	1,288,416	1,608,712
原材料及び貯蔵品	3,885,213	5,191,069
未収入金	5,550	5,099
その他	515,174	865,008
貸倒引当金	△1,168	△1,172
流動資産合計	86,008,880	81,413,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,392,242	24,250,771
減価償却累計額	△14,289,491	△15,188,696
建物及び構築物(純額)	9,102,750	9,062,074
機械装置及び運搬具	27,491,691	28,546,266
減価償却累計額	△22,021,837	△23,207,492
機械装置及び運搬具(純額)	5,469,854	5,338,773
土地	4,641,294	4,682,722
リース資産	101,644	109,603
減価償却累計額	△67,146	△75,597
リース資産(純額)	34,498	34,006
建設仮勘定	1,581,501	3,692,498
その他	1,373,226	1,486,460
減価償却累計額	△1,125,512	△1,215,363
その他(純額)	247,714	271,097
有形固定資産合計	21,077,613	23,081,173
無形固定資産		
のれん	170,842	79,366
その他	136,602	125,691
無形固定資産合計	307,445	205,057
投資その他の資産		
投資有価証券	11,951,566	20,940,788
長期貸付金	145,874	147,126
投資不動産(純額)	148,088	148,030
繰延税金資産	11,608	15,364
その他	376,077	347,531
貸倒引当金	△63,129	△36,129
投資その他の資産合計	12,570,086	21,562,712
固定資産合計	33,955,145	44,848,943
資産合計	119,964,026	126,262,252

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,179,945	5,869,138
リース債務	8,427	8,181
未払法人税等	1,483,112	1,295,132
賞与引当金	308,928	336,713
役員賞与引当金	60,100	81,700
その他	2,226,787	2,214,848
流動負債合計	9,267,301	9,805,712
固定負債		
リース債務	34,447	26,248
繰延税金負債	2,612,638	3,006,667
役員退職慰労引当金	90,482	100,372
退職給付に係る負債	1,402,316	1,377,088
その他	217,868	202,846
固定負債合計	4,357,753	4,713,223
負債合計	13,625,054	14,518,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,964,413	7,964,413
利益剰余金	85,606,123	88,933,594
自己株式	△2,040,815	△2,041,864
株主資本合計	98,624,817	101,951,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,712,799	5,107,096
為替換算調整勘定	2,167,456	3,689,619
退職給付に係る調整累計額	△18,695	15,307
その他の包括利益累計額合計	6,861,560	8,812,024
非支配株主持分	852,593	980,053
純資産合計	106,338,971	111,743,316
負債純資産合計	119,964,026	126,262,252

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	52,658,574	55,698,315
売上原価	34,556,605	39,401,034
売上総利益	18,101,969	16,297,281
販売費及び一般管理費	7,419,035	7,841,342
営業利益	10,682,933	8,455,938
営業外収益		
受取利息及び配当金	217,860	401,836
受取家賃	19,749	21,802
為替差益	352,328	277,566
貸倒引当金戻入額	—	27,000
その他	158,535	106,547
営業外収益合計	748,474	834,752
営業外費用		
支払利息	6,219	5,035
賃貸収入原価	3,692	—
固定資産除却損	—	7,534
貸倒引当金繰入額	63,000	—
その他	18,355	7,320
営業外費用合計	91,267	19,890
経常利益	11,340,140	9,270,800
特別利益		
固定資産売却益	17,559	—
投資有価証券売却益	—	38,164
特別利益合計	17,559	38,164
特別損失		
役員退職慰労引当金繰入額	186,396	—
固定資産除却損	17,512	—
特別損失合計	203,908	—
税金等調整前当期純利益	11,153,791	9,308,965
法人税、住民税及び事業税	3,018,370	2,613,708
法人税等調整額	308,943	205,952
法人税等合計	3,327,313	2,819,660
当期純利益	7,826,477	6,489,304
非支配株主に帰属する当期純利益	117,717	104,281
親会社株主に帰属する当期純利益	7,708,760	6,385,023

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	7,826,477	6,489,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	414,638	394,297
為替換算調整勘定	1,532,313	1,572,204
退職給付に係る調整額	△14,659	34,002
その他の包括利益合計	1,932,292	2,000,504
包括利益	9,758,770	8,489,808
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,550,314	8,335,486
非支配株主に係る包括利益	208,456	154,322

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,095,096	7,840,343	80,348,904	△2,100,667	93,183,676
会計方針の変更による累積的影響額			△777		△777
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,095,096	7,840,343	80,348,127	△2,100,667	93,182,899
当期変動額					
剰余金の配当			△2,450,763		△2,450,763
親会社株主に帰属する当期純利益			7,708,760		7,708,760
自己株式の取得				△2,738	△2,738
自己株式の処分		124,070		62,589	186,660
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	124,070	5,257,996	59,851	5,441,918
当期末残高	7,095,096	7,964,413	85,606,123	△2,040,815	98,624,817

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,298,161	725,881	△4,036	5,020,006	663,912	98,867,595
会計方針の変更による累積的影響額						△777
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,298,161	725,881	△4,036	5,020,006	663,912	98,866,818
当期変動額						
剰余金の配当						△2,450,763
親会社株主に帰属する当期純利益						7,708,760
自己株式の取得						△2,738
自己株式の処分						186,660
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	414,638	1,441,574	△14,659	1,841,554	188,680	2,030,234
当期変動額合計	414,638	1,441,574	△14,659	1,841,554	188,680	7,472,153
当期末残高	4,712,799	2,167,456	△18,695	6,861,560	852,593	106,338,971

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,095,096	7,964,413	85,606,123	△2,040,815	98,624,817
会計方針の変更による累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,095,096	7,964,413	85,606,123	△2,040,815	98,624,817
当期変動額					
剰余金の配当			△3,057,552		△3,057,552
親会社株主に帰属する当期純利益			6,385,023		6,385,023
自己株式の取得				△1,049	△1,049
自己株式の処分				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,327,470	△1,049	3,326,420
当期末残高	7,095,096	7,964,413	88,933,594	△2,041,864	101,951,238

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,712,799	2,167,456	△18,695	6,861,560	852,593	106,338,971
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,712,799	2,167,456	△18,695	6,861,560	852,593	106,338,971
当期変動額						
剰余金の配当						△3,057,552
親会社株主に帰属する当期純利益						6,385,023
自己株式の取得						△1,049
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	394,297	1,522,163	34,002	1,950,463	127,459	2,077,923
当期変動額合計	394,297	1,522,163	34,002	1,950,463	127,459	5,404,344
当期末残高	5,107,096	3,689,619	15,307	8,812,024	980,053	111,743,316

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,153,791	9,308,965
減価償却費	1,735,275	1,784,207
のれん償却額	97,624	105,822
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63,000	△27,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	55,516	8,670
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△64,963	9,890
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,600	21,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,467	26,099
受取利息及び受取配当金	△217,860	△401,836
支払利息	6,219	5,035
為替差損益 (△は益)	△339,835	△201,326
固定資産売却損益 (△は益)	△17,559	—
固定資産除却損	17,512	7,534
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△38,164
売上債権の増減額 (△は増加)	△645,422	△696,033
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,294,388	△2,069,146
仕入債務の増減額 (△は減少)	741,232	533,210
未払消費税等の増減額 (△は減少)	140,025	△144,197
その他の資産の増減額 (△は増加)	46,733	△193,280
その他の負債の増減額 (△は減少)	45,117	△32,479
小計	11,541,886	8,007,571
利息及び配当金の受取額	219,597	386,123
利息の支払額	△6,219	△5,035
法人税等の支払額	△3,452,870	△2,791,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,302,394	5,597,142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	8,500,000	1,500,000
定期預金の純増減額 (△は増加)	5,500,000	8,000,000
固定資産の売却による収入	435,166	—
有形固定資産の取得による支出	△2,348,742	△3,017,833
無形固定資産の取得による支出	△22,770	△8,530
投資有価証券の取得による支出	△5,007,015	△8,486,098
投資有価証券の売却による収入	—	97,680
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	1,990	911
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,058,628	△1,915,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,738	△1,049
自己株式の売却による収入	264	—
配当金の支払額	△2,450,376	△3,057,067
非支配株主への配当金の支払額	△19,775	△26,862
その他	△6,129	△8,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,478,754	△3,093,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,144,432	804,768
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,026,700	1,392,341
現金及び現金同等物の期首残高	40,877,790	54,904,491
現金及び現金同等物の期末残高	54,904,491	56,296,833

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業は、報告セグメントの集約基準に沿い、「各種天然調味料の製造、販売事業」に集約されます。従いまして、天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しているため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しているため、記載を省略しております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しているため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	欧州	アジア	合計
40,310,378	3,978,296	8,369,899	52,658,574

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	欧州	アジア ※	合計
11,098,883	5,615,859	4,362,870	21,077,613

※PT.Ariake Europe Indonesiaの有形固定資産 1,046,884千円が含まれております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
バンダーサービス(株)	7,361,969	天然調味料事業

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	合計
42,923,939	4,556,280	8,218,095	55,698,315

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	欧州	アジア	合計
11,040,105	7,728,616	4,312,451	23,081,173

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
バンダーサービス(株)	6,593,155	天然調味料事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

天然調味料事業として、単一セグメントとして報告しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	3,312.02円	3,477.73円
1株当たり当期純利益	242.10円	200.48円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	7,708,760	6,385,023
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	7,708,760	6,385,023
期中平均株式数 (千株)	31,841	31,849

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 代表者の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

該当事項はありません。